

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	海事システム学特別実習	
科目基礎情報						
科目番号	0018		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実習		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	海事システム学専攻		対象学年	専1		
開設期	後期		週時間数	後期:6		
教科書/教材	実習先で指示を仰ぐこと					
担当教員	小川 伸夫					
到達目標						
1. 企業などにおける将来にわたるキャリアイメージをもとに、仕事とのマッチングを考えることができる 2. キャリアイメージを実現するために必要な自身の能力について考えることができ、それを高めようとする姿勢をとることができる 3. 企業あるいは技術者・研究者が持つべき仕事への責任を理解できる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	キャリアイメージをもとに、仕事とのマッチングを考えることができる		企業などにおける将来にわたるキャリアイメージを持てる		企業などにおける将来にわたるキャリアイメージを持ってない	
到達目標2	自身の能力を高めようとする姿勢をとることができる		自身の能力について考えることができる		自身の能力について考えることができない	
到達目標3	企業あるいは技術者・研究者が持つべき仕事への責任が説明できる		企業あるいは技術者・研究者が持つべき仕事への責任の例を挙げることができる		企業あるいは技術者・研究者が持つべき仕事への責任の例を挙げることができない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	校外での実習を通して、技術者の実務、企業人として活躍するために自身に必要な能力、企業における社会的責任を実感する。 ※実務との関係 この科目は、実際の企業等の方が指導・担当する。					
授業の進め方・方法	特別実習のしおりに従い、実習機関を選び、校外での10日から20日の実習を行い、実習終了後に報告書の提出と実習報告についての口頭発表を行う。 成績評価は100点法によらず、別に定められた特別実習の成績評価法により可否判定を行う。					
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・実習期間中は実習先の関係者に敬意を払うとともに、礼節に気をつけること ・海外語学研修の場合は、事前に専攻主任に申し出て指示を受けること ・体調不良等により、やむを得ず休む場合には必ず実習先の実習責任者へ連絡すること ・実習後半において報告書を作成し、実習責任者の検印を受けること ・実習終了の最終日に実習先の実習責任者から特別実習評定書を受け取ること 三重創生ファンタジスタ資格対象科目（認定条件：三重県内の企業での実習であること）					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	計画	実習先を選定できる		
		2週	応募書類の作成	応募書類を作成できる		
		3週	実習	実習テーマを理解し、それに沿って行動できる		
		4週	実習	実習テーマを理解し、それに沿って行動できる		
		5週	実習	実習テーマを理解し、それに沿って行動できる		
		6週	実習	実習テーマを理解し、それに沿って行動できる		
		7週	実習	実習テーマを理解し、それに沿って行動できる		
		8週	実習	実習テーマを理解し、それに沿って行動できる		
	2ndQ	9週	実習	実習テーマを理解し、それに沿って行動できる		
		10週	実習	実習テーマを理解し、それに沿って行動できる		
		11週	実習	実習テーマを理解し、それに沿って行動できる		
		12週	実習	実習テーマを理解し、それに沿って行動できる		
		13週	報告書の作成	実習内容と得たものをまとめることができる		
		14週	報告会用スライドの作成	スライドを作成できる		
		15週	実習報告会	実習内容と得たものを説明できる		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の工学実験・実習能力	機械系分野【実験・実習能力】	機械系【実験実習】	実験・実習の目標と心構えを理解し、実践できる。	5	前1,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12

				災害防止と安全確保のためにすべきことを理解し、実践できる。	5	前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12
				レポートの作成の仕方を理解し、実践できる。	5	前2,前13,前14,前15

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	40	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	20	0	0	20
専門的能力	0	15	0	0	15	0	30
分野横断的能力	0	15	0	20	15	0	50